

# 生物多様性 市民トンボ調査結果まとめ



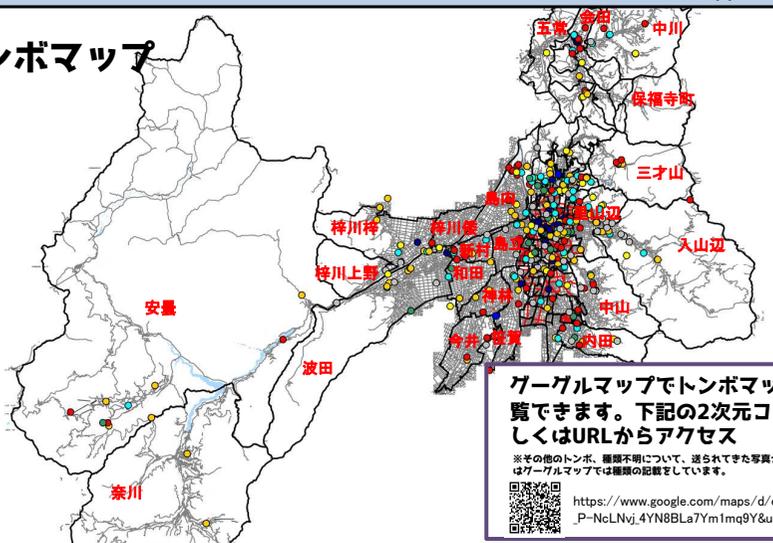
- 調査期間 令和6年6月1日(土)から9月30日(月)まで
- 報告件数 . . . 501件(前回調査H31年199件)
- 報告者数 . . . 207人(H31年67人・団体)

今回の調査には、前回の3倍の方が参加し、2.5倍の報告数がありました。多くの方のご参加とご協力ありがとうございました！トンボは様々な種類が様々な場所にいたと思います。トンボを通して、私たちと自然との繋がりが、生物多様性と私たちの関係についてぜひ考えてみてください。  
 ※トンボの種類や位置などは、写真から明らかに誤りと判断できるもの以外は、いただいた報告の通りに掲載しています。

<b>オニヤンマ</b> ●  44件(26件) 薄川、梓川、奈良井川など大きな河川のほか、田んぼの用水路などでも見られた。 前: オス 後: メス	<b>ギンヤンマ</b> ●  25件(5件) アルプス公園周辺の他、松本城周辺なお市街地でも見られた。 前: オス 後: メス
<b>ハグロトンボ</b> ●  42件(20件) 女鳥羽川、田川など河川周辺からの報告が多かった。	<b>アオハダトンボ</b> ●  15件(15件) 女鳥羽川周辺からの報告が多かった。
<b>シオカラトンボ</b> ●  72件(34件) 畑、田んぼ、公園など幅広い報告があった。	<b>アカトンボ類</b> ●  96件(66件) 畑、田んぼ、公園など幅広い場所から報告があった。
<b>その他(コシアキトンボ、ハラビロトンボ、など)</b> ● 134件(33件)	
<b>種類不明</b> ○ 73件	

## 市内トンボマップ

- 凡例
- オニヤンマ
  - ギンヤンマ
  - ハグロトンボ
  - アオハダトンボ
  - シオカラトンボ
  - アカトンボ類
  - その他のトンボ
  - 種類不明



グーグルマップでトンボマップを閲覧できます。下記の2次元コードもしくはURLからアクセス

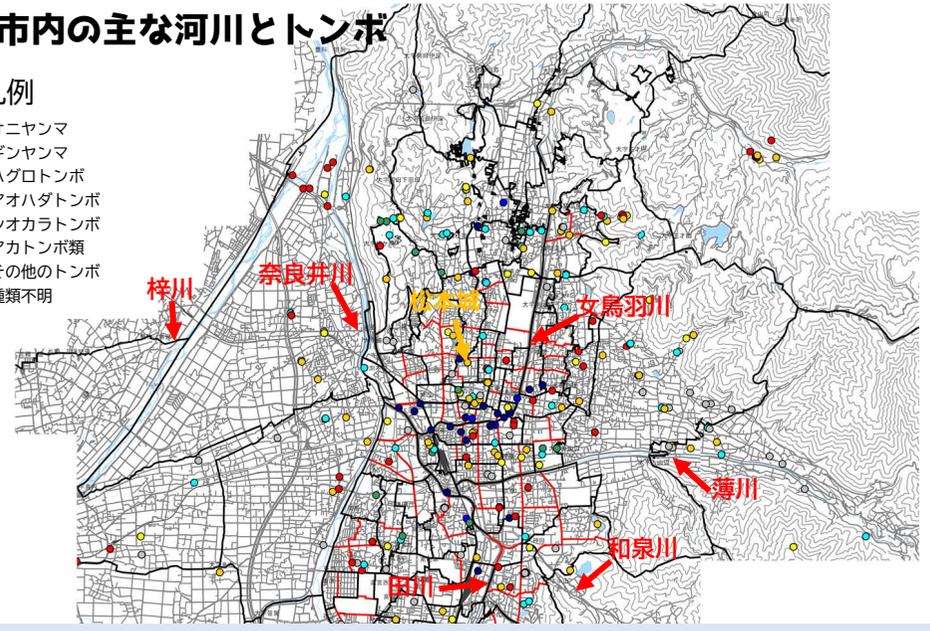
※その他のトンボ、種類不明について、送られてきた写真から特定できなかったものは、グーグルマップでは種類の記載を省略しています。

[https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1p6tZg-P-NcLNVj\\_4YN8BLa7Ym1mq9Y&usp=sharing](https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1p6tZg-P-NcLNVj_4YN8BLa7Ym1mq9Y&usp=sharing)

## 市内の主な河川とトンボ

凡例

- オニヤンマ
- ギンヤンマ
- ハグロトンボ
- アオハダトンボ
- シオカラトンボ
- アカトンボ類
- その他のトンボ
- 種類不明



## 調査結果

- 前回到引き続き、市街地から多くの報告がありました。
  - ・ 田川、女鳥羽川周辺ではハグロトンボやオニヤンマ、コヤマトンボなどが河川に沿って観察されているため、生息場所になっていると考えられます。
  - ・ 松本城のお堀や湧水による水路が多数あるため、市街地にもトンボの生息環境が多数あると考えられます。
- ギンヤンマの報告が前回の5件から25件と大幅に増加しました。
  - ・ 今回ギンヤンマは、これまであまり見ることが無かった乗鞍高原でも報告がありました。前は大きな池の近くなどでしか見られなかったギンヤンマが、今回は市内の様々な所で見られたことから、たくさんの個体が羽化したものと考えられます。温暖化の影響なども考えられるため、注意深く観察していく必要があります。
- アカトンボ類、シオカラトンボに多くの報告がありました。
  - ・ アカトンボ類は主に水田で発生し、夏場は水田を離れて移動することから市街地の他、高原など市内の様々なところでよく見られ、報告数が多かったと考えられます。
  - ・ シオカラトンボは水田の他、ため池や河川の流が緩やかな場所など様々な水辺で発生するため、報告数が多かったと考えられます。
- その他のトンボでは様々な種類の情報をいただきましたが、注目すべき種類として松本市を含め長野県ではこれまで確認されていなかったネアカヨシヤンマや温暖化で分布を拡大しているホソミイトンボ、海外からの飛来種とされるスナアカネの報告がありました。
  - ・ 貴重な記録として保存し、次回の調査の際にも見ることができかなど比較を行います。

お問い合わせ  
 松本市役所 環境エネルギー部 環境・地域エネルギー課  
 環境政策担当(東庁舎4階)  
 〒390-8620 松本市丸の内3-7 ☎34-3268  
 e-mail : s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp

多くの方がトンボに関する感想や思い出を送っていただきました。

- ・清水中学校 生物地学 クラブにて50年ほど昔、茅野先生という水棲昆虫に詳しい方のご指導で水質の綺麗さの指標としての水性昆虫の調査研究をしました。ヤゴもいたと思います。
- ・いつかどこかで捕まえたいと思っていたギンヤンマを、なんと家の前で見つけました。ビックリ！
- ・松本市の中心市街地（花時計公園）でまさかハグロトンボを見かけるとは、意外にありえる事なのかと思いますが、何故か胸躍りました♪
- ・我が家の庭では、ツツジの陰にいつも何匹かのイトトンボがいて、冬の日にも見かけた時は寒い中じっとしている姿にガンバレと応援したくなりました。
- ・ハグロトンボが今庭に住んでいるかと思うくらい毎日います。庭で見たのは初めてです。先日大王わさび農場に行ったときに水車小屋があるあたりにも沢山いました。パタパタと羽をちょうちよのようにはためかせるので神秘的でとても美しいです。女鳥羽川にもいたのでうちにはそこから来たのだと思います。
- ・虫好きな娘と一緒に、この夏も毎日虫とりをしています。今回初めてオニヤンマを捕まえることができて嬉しかったです！
- ・乗鞍高原は、多様なトンボが生息していた。
- ・子供の頃から、トンボ捕獲が好きで、夏休み宿題で標本等を作りました。



ダビドサナエ



ハグロトンボ

トンボを観察して下さっている方からは赤トンボが減っていることを心配する感想をいただきました。

- ・赤とんぼ類がここ数年大変少なくなった。無農薬の田んぼを始めたが、特にナツアカネが全く産卵にこない。
- ・アカアカネは4年ほど前までは集団で山に登る日が、天気の良い7月上旬に見られ、下山は9月の下旬稲刈りが済んだ後に、つながりトンボになって一斉に降りてきたが、最近そうした現象が見られない。急激に数が減っている。高い山でも見られる数が激減している。
- ・7月下旬頃から大量のウスバキトンボが飛び始めた。一般の人は皆赤とんぼが大量に飛んでいると思っていますが、殆どウスバキトンボで、赤トンボ類は大変少なくなっている。原因は農薬のせいだというのが、本当だろうか？
- ・うちの壁にはたくさんの赤とんぼが止まっていた。近年ほとんど見かけない。

トンボ観察中に見かけたトンボ以外の生きものを送ってくださった方もいました

松本市のLINEで、トンボ報告を拝見して、素敵な企画などと興味持っていました。

今日、夕方、芳川小3年の息子と、田川にエビとりに行ったところ、タガメみたいな、珍しい生き物を見つけて、画像だけとりました。帰宅して検索すると、コオイムシという、絶滅危惧種的なイクメンパパとわかりました。初めてのレアな出会いと、話のネタに面白いなと思い、トンボ報告の場をお借りしました。

次こそトンボ報告いたします。



コオイムシ

ツノトンボやヘビトンボの写真を送ってくださった方もいました。



キバネツノトンボ (ウスバカゲロウ科)



ヘビトンボ (ヘビトンボ科)

一方でトンボを多く見かけたという報告もありました。

- ・今まで気が付かないでいたのか？今年はこの日ばかりでなく、最近トンボが大量発生しているように思います。(8月下旬から) え？今年はどうしちゃったの？と思うほどです。
- 見かけたのは、家の近くだけでなく、市内のあちこちで。車を運転していても、トンボが目の前に沢山現れ、気持ちが悪いです。
- ・犀川沿いのわさび畑で沢山見ました。

調査をとおしてトンボに関して気付いたことを送ってくださった方もいました。

- ・捕獲したトンボ（ミヤマアカネ）を雄雌別に分けると、オスの個体が多かった。(ほぼ2倍)
- ・涼しげな水色が抜けて、白色化したシオカラトンボがたくさん見られた。猛暑の影響だろうか。
- ・トンボの種類は、マユタテアカネ かと？思います。驚いたことに、松本城黒門入口の 土橋西側のお堀上を、多分 100匹 以上が乱舞していました。見入ってましたら、15分経過後、全部どこかへ飛び去りました。
- ・前回カエルの調査に参加してその数の激減に驚きましたがトンボについてはありがたいことに頻繁に出会っているような気がします。でもこの調査で本当のところはどうなのか知りたいです。



羽化したオニヤンマ



アオハダトンボ



コシアキトンボ



ミヤマアカネ

四賀小学校の4年生のみなさんは市のYouTubeで知ったトンボ調査をきっかけに、四賀でみられるトンボを調べて送っていただきました。素晴らしい報告をありがとうございました！

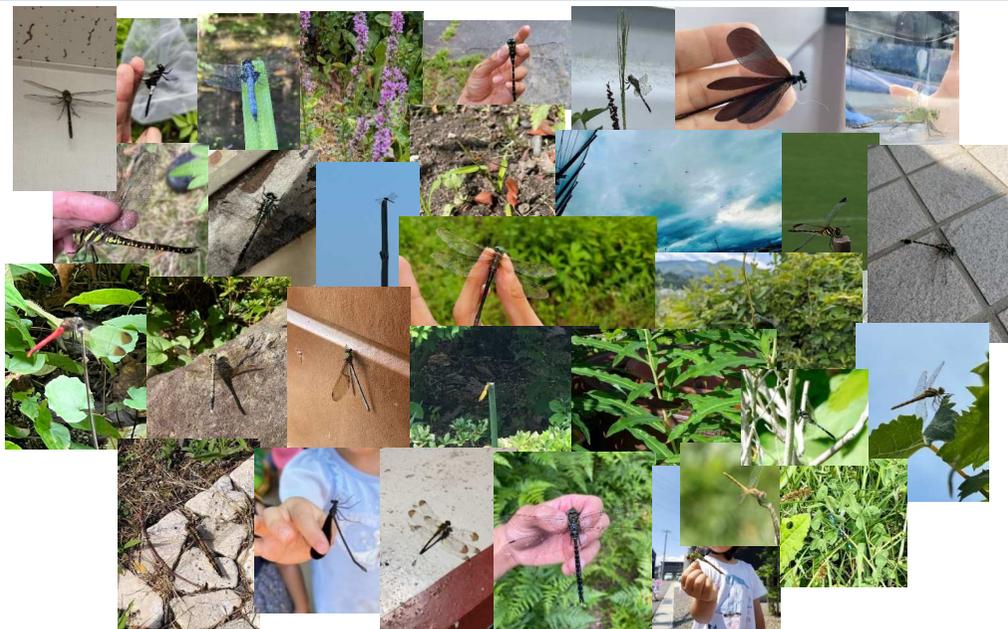


みんなでトンボを捕まえて観察して、トンボについて紹介するスライドを作ってくれました！



令和7年度のカエル調査にもご参加おまちしております！

報告者のみなさんから約320件の写真報告がありました。いただいた写真の一部を紹介します。



今回の調査ではグーグルマップで調査結果を閲覧できます。松本むしの会の福本匡志様に写真から種類を判別してもらい、判別できたトンボの種類を全て掲載しています。よく見るととてもたくさんの種類のトンボがいて、びっくりするのではないのでしょうか。

この調査では乗鞍高原でほとんど記録のなかったギンヤンマが見つかり、信州大学理学部の東城教授から、今後の推移を注意深く見ていく必要があるというコメントをいただきました。また、アルプス公園でこれまで長野県で報告のなかったトンボも見つかりました。このように、多くの方で生きものを探すと今回の調査のように新しいことが見つかる可能性がまだまだあります。これからも生きもの調査に是非ご協力ください！

10回以上報告をくださった方もいました。御協力ありがとうございました。